

第 5 回県政戦略会議の概要

- 1 開催日時：平成 22 年 8 月 18 日（水）9：00～10：20
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 出席者：知事、副知事、各部局長等
- 4 欠席者：警察本部長
- 5 議事概要：以下のとおり

（ 議題提出部局説明・回答、 意見・質問）

〔資料 1-1～1-5〕

資料 1-5 に基づき、説明。

（メディカルバレーの位置づけについて）

メディカルバレー構想の第 2 次実施計画では、新たな産業集積を図ることを目的としているが、健康対策に位置付けることとの整合は？

第 3 次実施計画では、健康づくりの視点にまで取組の幅を広げること検討している。産業振興の視点を無視するのではなく、産業分野での事業の再掲も含めて考えている。

国の新成長戦略との整合も考える必要がある。

先端的な医療技術の開発などは県レベルでは難しい。もっと県民生活に密接に関わる部分にシフトしていきたい。

メディカルバレーの取組は、健康福祉から切り離して産業政策にシフトした方がいい。先端的なものに取り組むべき。医療・健康事業としては、対人サービスや地域の雇用を生み出すとした方がわかりやすい。現在は、メディカルバレーは産業施策に位置付けられているが、担当しているのは健康福祉部であり、わかりにくい。担当職員を企業立地と兼務させることも考えられないか？

医療分野からの情報が必要であり、全てを産業部門の取組として整理してしまうことは問題がある。

新しい医療技術の研究開発などは県レベルでは難しいが、既存の集積を生かす視点はあ

る。先端技術について、国だけでやっていけるものではない。シャープや東芝など核になる企業があることにより、関連企業が集積されてくる。メディカル関連事業所も県内に 100 以上ある。それと三重大学とのネットワーク化などの仕掛けがあってさらに集積が図られる。これは産業政策である。AMIC などを活用して出会いの場を作り、メディカル関連事業が連携していくようなことを考えていく必要がある。

医療系のネットワークがあるのは健康福祉部である。

政策・事業体系において、産業集積につながるような組み立てが必要。

メディカルバレーは、健康づくりだけではなくて、もっと伸びていけるものだと思う。AMICなどともっと連携できるようにすること。また、産業分野との横串の組織を検討するなど、もう少し議論が必要。

メディカルバレー構想の第3次実施計画の検討とあわせて議論していきたい。メディカルバレーの課題は、規制行政と推進行政を同一の組織で担当していること。組織議論も必要。

組織議論の必要性は考えている。ただ、医療情報との関係を考慮する必要がある。

(子育て・子育てについて)

施策123と332の子育て・子育ての違いがわかりにくいということについてはどうか？

施策123を「子どもの育ちを支える環境づくり」とした。現行の「青少年の健全育成」は非行防止に力点が置かれている。国でも「子ども・若者育成支援」へと変わっている。子どもを未来の人材として育成していくという視点から名称を変更している。

基本事業、事務事業まで含めてうまく分けられるか？

施策332の「子育て支援」は福祉政策である。施策123は従来の家庭教育や青少年健全育成の事業も取り込んでいるもの。また、子ども条例の制定に関する事項も施策123の中で取り組みたいと考えている。施策123は、人材育成に関する政策の中での位置づけである。

施策名称から青少年が消えることについて、青少年にかかわる関係団体等との調整は大丈夫か？

条例や審議会の名称は現行どおりなので、問題はないと思う。

「子育て」は子どもへの支援、「子育て」は親への支援と捉えるものと思うが、基本事業や事務事業を見ると、整理がされていない。

そういう議論もあるが、「子育て支援」は地域社会で支えるという意味がある。基本事業も含めて、事務レベルでつめてほしい。

[資料1-3に基づき、施策目標(主指標)の変更点について、主なものを各部長から順次説明]

施策442の「水道普及率」は既に99.5%であり、他の適正な目標項目とすべき。

農水商工部の目標は伸び率が多いが、絶対値のほうがよいのではないか？

製造品出荷額は景気動向等により大きく影響を受けることや額が大きくわかりにくいということも考慮して、伸び率としている。

一万人アンケート結果を目標値としているものの取り扱いをどうするのか？

一万人アンケート自体の見直しが必要と考えており、できるだけ一万人アンケートの項目の使用を避けて、別の目標項目にするようお願いしているところで

ある。一万人アンケートの結果を目標としたい場合は、eモニターを活用するなどの方法も考えられるので、ご相談いただきたい。

目標については、毎年県議会からも意見をいただいている。文化力は漢方薬であり、すぐに効果が表れるものではないので、県民に効果を聞いてみても**はっきりはわからない**。一万人アンケートはわかりやすいが、**こうしたことを具体的に評価するのは難しい**。施策の目標は文化力を高めるということにあり、中長期の目標としては良いが、1年間の取組の成果を計る指標としては適切ではないかもしれない。

次回は30日に開催予定。基本的な考え方と施策シートを整理し、議会へ公表する素案としての形で提示させていただき、議論していただくことを予定している。

以上